



東日本大震災・原発事故により被災された皆様に、 心よりお見舞い申し上げます。

福島第一原発の事故に想う

3月11日に起こった未曾有の大地震と大津波の天災と、福島第一原発の事故の人災は、東北地方と関東地方に甚大な被害をもたらしました。犠牲になられた多くの方々へ哀悼の意をささげ、すべての被災者へ心よりお見舞い申し上げます。政府には、軍事費や公共事業、政党交付金などの不要不急な予算を組み替え、被災地の復興と被災者が安心して生活できる環境を一日も早く築くよう、万全で早急な対策を求めます。

福島第一原発の事故は、津波による冷却機能の喪失が原因でした。地震や津波が原発に致命的な事故引き起こす可能性は、吉井議員（共産党）が2006年に衆議院予算委員会や今年の経済産業委員会で指摘していました。チェルノブイリ原発事故を想定した対策が必要であると質しましたが、経済産業省と事業者は、日本の原発は安全であり、対策は講じてあるとし、この指摘をはね除けました。

何故に、無謀な袋小路に突き進んだのでしょうか。電力業界が、財界や国から電力自由化を強要され、自らも過度な競争原理を経営に取り込んだ実態があります。経費を節減して生産性を向上させれば、自ずと安全対策は軽んじられます。航空機事故や列車の事故で、その証左をつぶさに眺めてきました。東電の内部留保は二兆円ほどあります。この分が安全確保のために供される組織体であったなら、今回のような無残な事故の回避は可能だったと思います。

また、原子力利用の規制部門である原子力安全・保安院が、推進部門である経済産業省の一部門になっていることも挙げられます。更に、大学や研究機関における、原子炉の安全性に関する研究が疎かになっていることもあります。

原子炉は、現在も原子炉反応で生じた放射性ヨウ素やセシウムなどを大量に放出しています。放射性物質による農地、牧草、土壌、河川、海水などへの汚染を止め、健康被害を防ぐため、あらゆる知恵と能力を結集して事故を一刻も早く収束させることを願って止みません。

今回の震災について、もう一つ触れておきたいことがあります。関東で、同じ強さの地震と津波が起った時の恐怖を考えない訳にはいきません。東京湾口である横須賀には米軍の原子力艦船の基地があります。今回の原子炉事故は、地震や津波によって、艦船の原子炉が事故を起こしうる可能性を明瞭にしました。艦船が核兵器を搭載していれば、被害は想像を絶するものとなります。軍港は、私達の平和も未来も断ち切る刃と化します。

震源や断層をいたる所に持つ日本に、軍港も米軍基地もあってはなりません。日本から出て行くことを要求しましょう。これが「平和のうちに生存する権利を有することを確認する」とある憲法の示す道理なのですから。

代田2丁目・坂本 功)

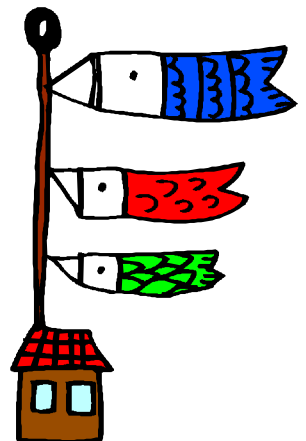
憲法記念のつどい

日時：5月7日（土）午後1時半～4時ころ

場所：代田教会（代田2丁目）

小田急線世田谷代田駅・南口下車・徒歩3分

- * 講演 「どうなっている憲法九条 - 新防衛大綱と海外派兵」
金子 勝 さん（立正大学 教授）
- * お話と朗読 「戦場」（花森安治・作）
日色 ともゑ さん（女優）
- * お話 平野 克巳 さん（代田教会 牧師）



～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめてみましょう ～

世田谷区教育委員会主催ピースセミナー

核兵器のない世界へ 私たちの課題」に参加して

2月12日(土)午後、ピースセミナーに参加した。「核兵器のない世界へ 私たちの課題」と題して、梅林 宏道さん(NPO 法人ピースデポ特別顧問)が、'06年フーバー研究所レイキャビク・サミット(米国のレーガン大統領とロシアのゴルバチョフ首相が「地球上から核兵器を無くそう」と話し合った)20周年記念シンポジウムから'11年2月の米ロ新戦略兵器削減条約(START)発効までの約5年間の動きについて話された。お話の一部を紹介します。核兵器廃絶へのアプローチとしては①ステップ・バイ・ステップ VS 包括的と②包括的計画の中でステップ・バイ・ステップがあり、日本は①の立場であり、非同盟諸国は②の立場でこの課題を押し上げている。昨年5月のNPT再検討会議「最終文書:64の行動勧告」で核軍縮に2つの新要素が加えられた。1つは「核兵器のない世界」には核兵器禁止条約など法的枠組みが必要。2つは核兵器の使用に関して国際人道法遵守の必要性を明記である。米国は、オバマ・プラハ発言もあるが、2010~20年に、冷戦期を含めて最大の核兵器開発予算をくんでいる。日本は'10年12月の核兵器禁止条約の交渉開始国連総会決議に棄権している。「核兵器のない世界」に向かう強力な第3の力が必要であり、それは①世界の市民の声②被爆の実相を知る日本の声③「核の傘」なしの安全保障であり、核兵器禁止条約・非核兵器地帯条約を結ぶこと。非核兵器地帯の3要素は①核兵器の不存在②核兵器による攻撃・威嚇の禁止③検証制度です。世界の非核兵器地帯は、南半球が殆どで7地帯あるが、米国・ロシアが批准していない地帯もある。北東アジア非核兵器地帯をめざしスリー・プラス・スリー構想があると話された。後に、故井上ひさしさんがこの課題に取り組んでいたと聞いた。余り聞きなれない言葉もあり、多くを学んだセミナーでした。人類が開発した核兵器を、人類の力で解決できると信じている。(代田5丁目・小澤 清子)

集会等の紹介

4月23日(土) 午後1:30~5時 緊急シンポ「巨大地震と原発:福島原発事故の意味するもの」

東北地方太平洋沖地震はどのような地震だったのか 立石雅昭(新潟大学)

ほか、深尾正之(元静岡大学) 野口邦和(日本大学) 館野淳(元中央大学) のみなさん

主催:日本科学者会議エネルギー・原子力問題研究委員会 連絡先:全国事務局(Tel 03-3812-1472)

会場:日本大学歯学部2号館B1第一講堂(御茶ノ水駅下車) 参加費:1000円

5月3日(火) 午後1:30から 生かそう憲法 輝け9条 憲法集会 & 銀座パレード

スピーチ 三宅 品子(千葉大教授) 伊藤 千尋(ジャーナリスト)

福島 みずほ(社民党) 志位 和夫(共産党)

主催:2011年5・3憲法集会実行委員会 会場:日比谷公会堂

5月21日(土) 午後3:30から 講演会「戦争の昭和」を考える

— 設立四周年記念集会として— 澤地久枝(作家)

主催:早稲田大学教職員9条の会 w9jyo2@googlegroups.com

会場:早稲田大学・早稲田キャンパス15号館(予定)

6月4日(土) 午後1:30から 九条の会講演会

大江 健三郎(作家) 奥平 康弘(憲法研究者) 澤地 久枝(作家) 鶴見 俊輔(哲学者)

主催:九条の会 Tel 03-3221-5075 会場:東京日比谷公会堂

参加費:前売1000円(当日1500円)

申込み:郵便振替にて、口座No.00180-9-611526 加入者名:九条の会 に

「講演会入場券〇枚希望/名前/住所/電話番号」記載の上。

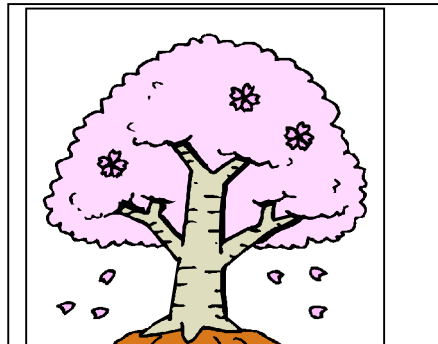
日本国憲法

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

第99条 天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、

裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。



お願い:ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。